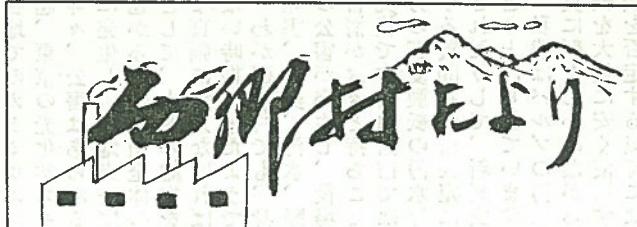


西郷村の人口及世帯数
(45.9.1現在)
世帯数 2,187
人口 10,409
男 女
5,119 5,290



発行日 昭和45年10月15日

發行所  
西郷村役場  
(電話磐城熊倉)  
1番・2番・7番  
編集発行  
企画課  
印刷所  
ワタベ印刷所

役場敷地は熊倉小前に

## 議会で取得を議決

九月八日、村議会第五回

要は次のとおりです。

開拓会が開いた結果、木村行蔵氏の手で、倉の敷地の買収が議決されました。場所は折口原の能五十八平方尺（約一町三反五畝）の畠です。

非常に手狭なため、どこか新しい所に、近い内に新庁舎の位置を決定し、建設することが必要であることは村民大方の声でした。村当局でもかねて位置の検討、

二年七月十一日の議会の際議会として、位置、財源、構造等について研究調査を進めるべきであるとの提案があり、七月二十八日、新庁舎建設調査研究委員会が

アンケートの結果は昨年九月の村だより五十号に発表したとおり、甲子道沿いが過半数の六十三ペーセントに達し、委員会で協議の結果、委員会としては、甲

の外、今年度建設予定の生  
活改善センター、来年度に  
計画している村民ブル等  
の諸施設も出来る予定であ  
り、時代の要請である駐車場  
も広くとることができる

議決しました。発足しました。そこで、これらの道路をじており、これらは既に完成してあります。このことにより、交通の便のよくなり、村の中心的な位置となることが必要であるということです。そこで、村民全般からのアノケートを求めるところとなりました。又、敷地面積も一万三千坪

発足しました。  
同委員会では、まず、位  
置決定には、村民の声を聞  
くことが必要であるという  
ことで、村民全般からのア  
ノケートを求めるところとな

じており、これらの道路を  
ごく短距離の区間改良する  
ことにより、交通の便のよ  
い、村の中心的な位置とな  
る事が見込まれます。

アンケートの結果は昨年九月の村だより五十号に発表したとおり、甲子道沿いが過半数の六十三パーセントに達し、委員会で協議の結果、委員会としては、甲子道沿いが望ましいという答申を出しました。その後、村当局ではアンケートの結果に対する村民の反響等を注意する一方、甲子道沿いについて具体的に、土地の物色をして来ました。候補地も四ヶ所程を上げ、執行部と議会との協議をつぶけてきました。

その後、村当局ではアンケートの結果に対する村民の反響等を注意する一方、甲子道沿いについて具体的に、土地の物色をして来ました。候補地も四ヶ所程を上げ、執行部と議会との協議をつぶけてきました。

その他、今後の研究課題として、公民館（図書室、民俗資料室等を含む）テニス場も広くとなることができる予定です。

活改善センター、来年度に計画している村民プール等の諸施設も出来る予定であり、時代の要請である駐車場も広くとなることができる予定です。

結局第五回臨時会に提案するまでの運びとなり、數地買収の議決が得られたわけです。

新庁舎の位置は、国道一  
百八十九号線（甲子街道）  
と県道小田倉増見線の交点  
（折口原十文字）から七

百餘程の距離にあり、羽大  
熊倉方面、白河米方面、小  
田倉方面、川谷追原真船方  
面からと四方から道路が通

四年元金均等償還で、土地代を支払うことになります。

## 我等の願いは由紫水朝の里 西郷の公害対策

最近公害問題は急にマスコミに大きく取り上げられる重大問題としてあつかわれるようになりました。全国的な話題となつている田子の浦のヘドロ問題、各地でのカドミウム汚染問題、東京の光化学スマog等々、公害はあらゆる分野に発生し、一地方一国の問題から地球人類全体の問題として、人類の総力をあげて真剣に考えなければならぬ時期に来たようです。わが西郷村でも、身近に煙害、悪臭、汚水、騒音等の公害が発生し、役場へも苦情が次々と持ちこまれる現状です。白河市では地区労の三菱製紙の汚水等に関する質問状が市長宛に提出されたりして、新聞紙上にとり上げられています。

私達はバルプの汚水や悪臭に顔をしかめながらも、紙を大量に安く使用する社会を否定する気持にはなかなかなりません。砂利取りの濁水になやまされながら砂利は豊富に道路に敷いてもらいたいし、建築の骨材は安く買入れたたいのです。自動車の排煙や騒音や交通戦争を恐ろしく思ひながら、自動車を買って、乗りました。いまわしたい欲望は消すことはできません。公害の責

任は、たしかに発生漏れたる個人一企業にあります。同時にそれは、私達人間の共通の問題として、共にやみ、共に苦しみ、考え、努力して行かなければならぬものでしよう。

今迄も、公害問題発生の度に、村は中に入り、あつせん調停につとめてまいりました。三菱製紙の公害問題にも深い関心をもつて、その実害と対策について見守つてまいりました。

然し、時勢は、企業、住民、行政機関の総力を挙げて新しい公害対策を要求する段階に来ております。去る九月七日の村議会でも、此の問題がとり上げられ、先づ、公害とその対策の実情について自からの勉強をしようということになり、九月二十一日の午後から村議会議員全員及び村長、助役、各課長が三菱製紙と阿武隈の砂利取り現場の視察を行ないました。

三菱製紙では、先づ工場長さん、担当課長さんの公害対策についての説明をうかゞい、防止施設の見学をしました。

突からぬ金属を腐食させる物質の排出です。悪臭は、木材のチップを、苛性ソーダ、その他で蒸解させ、それを空気中に放出するときに発生するもので、風下にかなり遠くまでたゞよつて行きます。健康に有害な物質はないということですがさわやかな高原の空気を期待して、私達の村を訪れる人にとっては、全くがかりさせられる悪臭です。

工場では、一昨年から悪臭の防止のため、それまで直接大気へ放散させていた蒸気を、水の入ったタンク内をとおして、水にとかしてから、放散させる装置を作りました。それによつて、臭の成分は九〇パーセント吸収されると、いうことです。が、それでも、まだあのようない臭いです。現在の最高技術をとり入れても完全な脱臭是不可能とのことです。が、バルプ工場の悪臭は全世界の問題であり、世界を挙げての研究の成果を採用して、脱臭装置の向上改善に取り組んで頂きたいものです。

次に汚水の問題ですが、以前は廃水を中和させた上、一旦沈澱池で沈澱させました。一年から分離機で分離する一方、活性防泥法というバルプ業界では初めての方針を採用し、廃液に窒素燐酸と空気を混入することによって、バクテリヤによる廃液成分の分解を促進させ、更にその液を沈澱槽で沈澱させて上澄液を

放流する方法をとつていいきます。この方法によると、排水液の中にこれ以上分解する成分は非常に少なくなり、水中の酸素欠乏現象がなくなるということです。

ただ残念なことに、現在千百トンの大きな水槽で空気供給をやり、更に千トンの沈殿槽で沈殿させていますが、それでも廃液の一部しか処理できないそうで、全量処理の施設の早期実現が望まれます。

だゞ一つ救われることは田子の浦のようなヘドロの成分は、従前から、沈没させて流しているし、分離槽で分離しているので、あのようないどいことはないということ。それから、カビミウムのように長い間に人体にひどい害を及ぼすような物質は、パルプの廃液の中にはないということです。けれども今回の規制する標準以下に全部の部門でおさえていることです。けれども武隈川の上流からあのように汚水が流れ行くことは全く残念なことです。工場では、色と臭を消すことにこれから、重点的に努力するとのことですが、一日も早く処置されるのを望んでいます。

又、従前はバルブ材の皮をはぐのに、湿式ドライバーガーというのを使つていきましたので、これも汚水の有力な原因となつてしましました。今度、これを乾式のま

のに切りかえたため、皮はぎのための汚水はのぞかされました。次に煙突からの排出物の問題ですが、これは、一般的に煙害とちよつと題を異にします。重油をたきますし、その中の硫黄分が、亜硫酸ガスとなつて空気中に放出され、それが、ぜんそくを起こしたり、金属、植物等に生じます。三菱製紙では、重油はごく一部で、大半はパルプの廃液からとつて、ブラッククリカーと呼ばれるタル分を燃料として、バーラーをたいています。の中には硫酸分は極めて少なく、芒硝という固形分の飛散が大部分です。この半分はもともと中性のもので、金属等には作用しない筈なのですが、近所のトタン工場、その他の金属類の腐食が甚しく、なやみの種となつています。

とです。でも、まだ皆さんの感ぜられるような種々な不快な排出物があります。科学の進歩は、このような不快の解消の方向に活用され、それを積極的に採用して行かれるよう希望してやみません。

次に、一同は濁水の原因となつてゐる、阿武隈川の砂利採取の現場を見学しました。濁りの原因は二つあります。一つは、川の中から砂利、砂を採取するためのもの、一つは碎石の際、石のよごれを川水で洗つて流すことによる濁りです。

砂はすぐには沈澱しますが粘土質のものはなかなか沈澱しないで、遠くまで濁つて流れて行きます。以前は澄み切つた阿武隈川からの用水堀の水を洗物に使つていましたが、今では全然不可能です。沈澱池を作つてできるだけ沈澱させて流すのがさし当つての対策ですが、砂利は必要だ、水の濁るのは困る。むづかしい問題です。

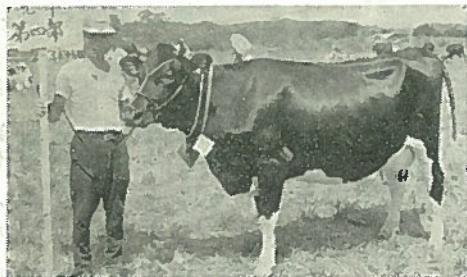
以下の所、砂利取りの跡地の整理の問題、濁りの沈澱池の整備等、業者に申し入れて最善の方法を取るべく努力しています。

公害問題はこれからもまだ発生することと思ひます。それらを克服して、山紫水明の郷土をつくり上げて行くのが、村づくりの一面での目標でありましょう。



ます。長の講評を記載させて頂きまし  
た。では、審査

乳用牛第四部優等賞  
(郡共進会チャンピオン)  
(オノ原共進会銀賞)



西郷村畜産共進会受賞一覧表

△印は村有貸付牛

区分\項目	等級	氏名	部落	区分\項目	等級	氏名	部落	
乳牛第1部 (生後4ヶ月~12ヶ月未満)	優等賞	小松 幸作	熊倉	肉用牛第1部 (生後6ヶ月~15ヶ月)	優等賞	大高 升	赤淵	
	1〃	五十嵐 貢	虫笠		1〃	北野 徹	芝原	
	2〃	後藤 源一	由井ヶ原					
	2〃	石田 譲	黒森					
乳牛第2部 (生後10ヶ月以上18ヶ月未満)	優等賞	真船 義夫	真船	△優等賞	鈴木 正夫	柏野	△印は村有貸付牛	
	1〃	関矢 愛吉	川谷	△1〃	高久 繁	高助		
	1〃	遠藤 喜一	"	△1〃	真船 真	真船		
	2〃	鈴木 実	"	△1〃	藤井 正勝	"		
	2〃	山本 重男	下折口原	△2〃	鈴木 丈夫	柏野		
	2〃	八島 時弥	川谷	△2〃	鈴木 嘉行	"		
				△2〃	藤井 正勝	真船		
				2〃	高久 敏行	高助		
				2〃	菊地 光恵	鶴生		
乳牛第3部 (生後18ヶ月以上28ヶ月まで)	優等賞	白岩 征治	虫笠	肉用牛第3部 (和牛) (生後24ヶ月~36ヶ月)	優等賞	高久多喜雄	高助	二、経産牛(四~五部)
	△1〃	相川 雅郎	上新田		1〃	辺見 邦夫	後原	この部は前回に比較しま
	△1〃	堀田 勝	由井ヶ原		2〃	近藤芳喜代	下羽太	すと、数段改良が向上して
	△1〃	加須我 茂	真船		2〃	相馬菊五郎	鶴生	されたい。
	2〃	後藤 源一	由井ヶ原					
	2〃	八島 時弥	川谷					
	2〃	加須我英一	真船					
	△2〃	鈴木 登	熊倉					
乳牛第4部 (生後46ヶ月未満の経産牛)	優等賞	鈴木 清一	長坂					
	1〃	真船 和治	真船					
	1〃	後藤 源一	由井ヶ原					
	2〃	鈴木 一雄	山下					
	2〃	真船 和治	真船					
乳牛第5部 (生後46ヶ月以上の経産牛)	優等賞	広田 肇	芝原					
	1〃	渡辺 富藏	由井ヶ原					
	1〃	鈴木 新栄	"					
	2〃	鈴木 実	川谷					
	2〃	鈴木 清一	長坂					
	2〃	鈴木 新栄	由井ヶ原					

去る八月二十八日、第四回西郷村畜産共進会が、折口原の畜産ゴム工業所脇の村有地で開かれました。出陳頭数は、乳牛六十七頭、肉用牛四十七頭、計百十四頭(うち十一頭参考牛)で、白河家畜保健衛生所長ほか十三名の審査員によつて厳正な審査の結果、別表のような受賞牛がきました。

成績は講評にあるとおり前回にくらべ、数段、改良が向上していることはよろこばしいことです。これか

らも、尚一層の努力をされ、本村の畜産振興に寄与されるようお願いします。この日、多産牛として、十産以上の牛三頭が表彰され、又、村有貸付牛優良農家として由井ヶ原の鈴木ヨナさんと高助の高久繁さんがその熱心な飼育管理によつて表彰されました。又、この共進会で、乳用牛第四部の優等賞をうけた長坂の鈴木清一さんは、「ピーアレーレ・クレスト・サイド・ランビオン」は、郡の共進会で、チの共進会で、乳用牛第四部の優等賞を受けました。

△印は村有貸付牛の発育をして肋腹が充実し、将来粗飼料を多量にとれるよう深さと張りをもつものが多かつた。又、乳器の質は良好であり、将来、本村の基礎牝牛となる資質を備えているものが多かつたことはよろこばしいことである。

しかし、背線のゆるいものや肢蹄の弱いものが散見されたが、運動不足によるものと思われる所以、今後管理面で一層の努力をねがいたい。

△印は村有貸付牛の発育をして肋腹が充実し、将来粗飼料を多量にとれるよう深さと張りをもつものが多かつた。又、乳器の質は良好であり、将来、本村の基礎牝牛となる資質を備えているものが多かつたことはよろこばしいことである。

△印は村有貸付牛の発育をして肋腹が充実し、将来粗飼料を多量にとれるよう深さと張りをもつものが多かつた。又、乳器の質は良好であり、将来、本村の基礎牝牛となる資質を備えているものが多かつた。又、肢蹄の軟弱なものも散見されたので、

二、経産牛(四~五部)  
この部は前回に比較しまく、長年にわたり、高い生産能力を表わすものが多かっただが、後軸の発育が悪いものが少

三、肉用牛  
この部は前回に比較するとい。即ち、体積に富み、器具の資質、乳房の容積大きさと、背中、肋張りなどにおいて改良の向上がみられることが多かつた。又、肢蹄の軟弱なものも散見されたので、

四、肥育牛  
肉の付き具合、脂肪ののり具合、幅の厚みについては良好であるが、素牛の選択のわるいため、所期の肥育が達せられないものが多

数みうけられた。これの改良は、種牡牛の配合を研究

## 敬老会をかねて 老人福祉大会ひらく



十月四日、西郷村老人福祉大会が、敬老会をかねて熊倉小学校体育館におとしよりはじめ、各関係者約五百二十人が参加して盛大に行なわれました。

大会は寿会連合会々長さ大会終了後には、川谷地区益踊り、下羽太に伝わる元気で長生きをしてください」と激励の言葉などがありました。

今年は数え七十才以上の六十人の方に一人千円の西郷村敬老年金が、八十五才以上の方々には、県から一人三千円の敬老年金が、それぞれ区長さんを通じて渡されました。

また、村では、夫婦で米寿をむかえられた金田初太郎さん夫妻に記念品をおくり、お二人の長寿を祝いました。では、村の長寿（八十八才以上）の方々をご紹介します。

△敬称略▽

部落	上折口原	坂	稗	折口	返	追	上折口原	正木	高崎	森	石井	サト	大清水	中村	長七
高田	さよ	タケ	ハナ	源助	池沢	金田初太郎	金田	マス	フユ	タツ	サト				
鈴木															
亀藏															
氏名	年齢														

国民年金について、もつとくわしく知りたいことやわからないことがありますたら、国民年金委員、又は役場国民年金係に気軽に尋ねください。
【委員氏名】
中村 芳治（上折口原）
佐藤 清巳（下新田）
和知恵二郎（上羽太）
有放電話二〇六八
小針 敏則（米）
有放電話二四〇八
佐藤 清巳（下新田）
電話白河局（八三三七）
金田市四郎（黒森）
有放電話三三一四
88 88 88 88 89 89 89 90 90 92

### 国民年金の相談は

国民年金ができて、今年で十年になります。

わが村の年金に加入して

いる方は、現在二千七百人を越えています。

村では、国民年金の加入

で三十年になります。

わが村の年金に加入して

いる方は、現在二千七百人を越えています。

村では